

2020年10月12日

各 位

太陽誘電株式会社  
広報部

## 太陽誘電：福山市で河川監視システムの実証実験を開始 - 河川や内水氾濫監視のため、6箇所に水位計とカメラを設置 -

太陽誘電株式会社(本社：東京都中央区)は広島県福山市、福山大学、株式会社サンテック(本社：東京都千代田区)と協働し、福山市内において、下記のとおり河川等状況監視システム(以下、河川監視システム)の実証実験を実施することに合意いたしました。

### 記

#### 1. 背景

近年、各地で豪雨による災害が頻発しており、河川の急な増水に伴う越水や内水氾濫による浸水被害が多く発生しています。このような災害に備え、河川や内水路の水位の変化と現場の状況を監視するシステムを構築し、防災情報として活用することの重要性が増しています。

そこで、太陽誘電が開発した河川監視システムを使用して水位データを取得し、河川や内水路の状況をモニターする実証実験を実施します。期間は、2020年10月から2021年3月までの予定です。

太陽誘電は、電波式水位計やモニタカメラ、独立電源などを組み合わせた河川監視システムを開発し、災害による被害を最小化するという社会課題を解決するためのソリューションとして提案しています。また、「安全安心防災教育研究センター」にて河川防災の研究を進める福山大学は、その研究の一環としてセンサーネットワークに関連したデータ分析に深い知見を有しており、実証実験のデータ分析、地域防災のためのデータ利用検討等を行います。

#### 2. 協働の役割

実証実験における協働者の役割は以下のとおりです。

太陽誘電： 水位計、カメラの提供、およびクラウドシステムの運用

福山市： 実証実験実施場所提供

福山大学： 水害対策に関する学術的知見に基づく支援ならびに取得データの分析

サンテック： 水位計、カメラの設置

#### 3. 河川監視システムの概要

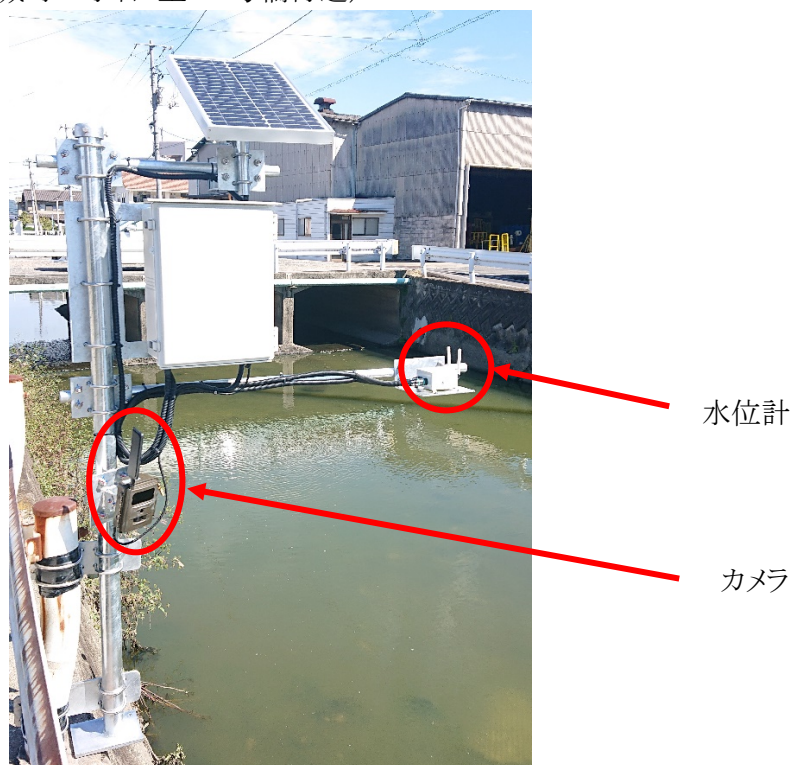
水位計やカメラのデータを、LTE 網を利用してほぼリアルタイムにクラウドサーバーへ伝送し、PC やスマートフォンにて閲覧することが可能です。現地に行かずとも、氾濫危険箇所の水位と現場の状況を把握することができます。当社が開発した水位計は非常に小型かつ軽量で独立電源も搭載可能なため、設置場所の自由度が高く、従来では把握が難しかった中小河川や内水路をピンポイントで監視することが比較的容易にできます。独自の水位計でコストを低減しつつ、カメラを組み合わせることで現場の水位と映像を同時に確認できるきめ細やかな監視を実現します。

この実証実験では、データを閲覧できるのは協働者に限定しますが、将来的にはクラウドシステムを通じてデータを公開することで、住民の自助、互助による避難誘導に役立てることが可能と考えます。なお、太陽誘電では、広島県内の他エリアでも、同様の実験を計画中です。

#### 4. 機器設置場所情報

設置場所		水位計	カメラ
広島県福山市東手城町 1 丁目	手城橋	1	1
広島県福山市東手城町 3 丁目	堦 16 号橋付近	1	1
広島県福山市東手城町 3 丁目	堦 15 号橋付近	1	1
広島県福山市引野町 4 丁目	堦 7 号橋付近	1	1
広島県福山市東深津町 3 丁目	雨水貯水池付近	1	2
広島県福山市南蔵王町 5 丁目	蔵王公園北東端	1	1

設置例(広島県福山市東手城町 3 丁目 堦 15 号橋付近)



以上